

平成 14 年
第 34 回自転車大会

V33

【指導者】
・小川茂樹
【選手】
・矢野雄太
・堀田知愛
・山隈江里加
・川上舞子

憧れの自転車部

堀田知愛

／の度は大津地区交通安全子ども自転車大会 40 連勝おめでとうございませう。

私も 2002 年の選手としてこの記念誌発行に携わることができ、大変光栄に思っております。思い返してみれば 7 年前、姉の影響を受け自ら自転車部に入部しました。当時指導の小川茂樹先生は、30 数連覇という実績からもかなりのプレッシャーを感じていることを選手である私たちもひしひしと感じていま

した。そのため練習にも熱が入り放課後や昼休みだけでなく、10 分の休み時間にも練習を行いました。毎日自転車部は給食をすごい勢いで食べ、旧図書館で学科のテストを受け、学科がない日には体育館で実技の練習を行いました。自転車部に自ら入ったのですが、バレーボール部との両立はすごく大変で毎日くたくたで家に帰っていたのを思い出します。バレー部ではセッターを主にやっていたのですが、自転車部の練習に行くことと思うように練習ができなくなり

周りのみんなが上達していく中取り残されている気分でした。しかし、自ら憧れて入った自転車部だったので「A チームに入つてやろう」という気持ちで自転車大会までの期間必死に練習を行いました。本番の大会では、今までに味わったことがないくらい緊張しました。しかし、実際に競技が始まると S 字や 8 の字、ピンに板乗りなどあつという間に終わってしまいました。競技より緊張したのが結果発表を待つ時間でした。「河原小学校 A チーム」と言われた瞬間は喜びよりも安心したことをよく覚えています。幼いながらも、これまでたくさん

先輩方が築いてこられた伝統を守ることができ「ホッ」としました。これから選手として大会に出られる皆さんが、たくさん期待とプレッシャーを跳ね除け、大会で活躍されることを心からお祈りいたします。



《ニュース》

・牛肉偽装事件
・日朝首脳会談
・拉致被害者帰国
・ムネオ・キヨミ騒動
《テレビ》
・人によさしく
・ランチの女王
・真夜中の雨
・真珠夫人
《流行歌》
・ワタツミの木
・SAKURA
・大きな古時計
・Voyage
《その他》
・タマちゃん

平成 15 年
第 35 回自転車大会

V34

【指導者】
・田中あかり
【選手】
・村上知也
・西山佳織
・秋吉 溪
・内山翔旗
・小城健揮

おめでとうございませう

西山佳織

四

十連覇おめでとうございませう。

河原小学校自転車部の OG としてとても嬉しく思います。平成 15 年度の優勝チームを代表して、当時の河原小学校自転車部の思い出を報告させていただきます。

当時、私と秋吉溪君、村上知也君、内山翔旗君と小城健揮君が 6 年生として活動を行いました。担当は田中あかり先生で、きびしくもやさしい、ご指導をいただきました。筆記試験

問題は、休み時間や給食後にやっていました。実技の練習は放課後に体育館で主に行いましたが、昼休みや朝早く来て練習する人もいました。学校の先生方も一体となって、私たち自転車部のために精一杯の配慮をいただきました。

大会前はこれまで先輩たちが続けてくれていた、34 連覇が大きなプレッシャーとなりましたが、また励みにもなりました。4 年前には兄(恭平)も優勝していました。大津地区の大会は西原村のトレーニングセンターでした。実力を出すことができたと思います。大会当日は父や母たちも大勢応援にきてくれました。そして団体の部 35 連覇、そして個人賞も河原小学校が独占したと記憶しています。成績発表のときは「たぶん大丈夫だろう。」という気持ちと「もしかしたら...。」という不安もありました。そして優勝と聞いたときは、本当にうれしかったです。ちなみに村上知也君が優勝、そして私が準優勝でした。

県大会は免許センター敷地内のコースで行われました。県内から各地区優勝の強豪チームが出場していました。当日は雨が降り出



して、カッパを着ての実技だったと記憶しています。雨でコースがすべり私も含めみんなも実力が出せなかったように思いました。結果はおしくも準優勝でした。

《ニュース》

・スペースシャトル爆発
・米英軍がイラク攻撃
・日本人外交官殺害
《テレビ》
・僕の生きる道
・Drコトー診療所
・GOOD LUCK
・トリビアの泉
《流行歌》
・世界に一つだけの花
・COLORS
・さくら
・月のしづく
《その他》
・SARS



【指導者】
・田中あかり
【選手】
・矢野翔大
・秋吉 森
・山下祐樹
・松本光貴

平成16年
第36回自転車大会

V35

思い出

秋吉 森

私 たちは、田中先生、六田先生、松本先生のご指導のもと、大津地区交通安全子ども自転車大会で35連覇することができました。
放課後、毎日みんなが一生懸命練習しました。過去に自転車大会で全国大会へ行かれた方に小学校に来てもらい、ご指導してもらった

こともありました。残念ながら県大会では〇位と全国大会にはいけませんでした。でもよい経験が出来ました。今、思い出しても楽しかった記憶しかありません。
35連覇できたときはうれしかったと同時にほっとしました。これからも連覇を続けていってみたいです。

《ニュース》
・鳥インフルエンザ
・イラクへ自衛隊派遣
・新潟中越地震
・インド洋大津波
・新紙幣発行
千円・五千円・一万円
《テレビ》
・冬のソナタ
・オレンジデイズ
・プライド
・白い巨塔
・砂の器
《流行歌》
・Carry On
・マツケンサンバ
・Sign
・桜
・愛よ愛よ
《その他》
・韓流ブーム
・セカチュー
・新球団楽天発足

平成17年
第37回自転車大会

V36

【指導者】
・松本克己
【選手】
・村上祐紀
・千原忠介
・新川皓大
・神崎謙人

厳しい特訓

千原忠介

ぼ くは、今高校1年生になりました。河原小学校に福岡から転校して来たのは、平成16年3月末のことです。門出の河野さん宅に男子7名で山村留學1期生として暮らし始めて2年目の6年生の時、自転車競技部に入部しました。当時は「河原小の伝統行事、自転車大会に出るよ。」と先生から言われても、何の事



皆に「有難う。」という気持ちです。個人優勝で、僕が金メダルをもらったのは、事の重大さもわからず、気楽な気持ちで心から楽しめた事（特に、練習中、おやじの会と僕の父との対決は、すごく楽しかった思い出のひとつ）、だとも今になって振り返ってみればつくづく思います。本大会に関わって下さった皆様、心から感謝しています。

か、その意味が良く理解できませんでした。なんとなく「おもしろそう。」という程度の気持ちで始まった日々の自転車競技部の練習。ほくは、もともと体を動かすことが大好きなので、毎日の先生方からの厳しい特訓も少しも苦にならず楽しめました。
事の重大さがわかったのは、当日、平成17年6月18日の大津地区大会の競技が終わって表彰式の中で入賞者の発表があつてからの数日間です。団体優勝は、Aチーム8名のチーム力だと思っています。チームメンバーの

《ニュース》
・愛知万博
・福知山線脱線事故
・道路公団民営化
・耐震強度偽装問題
《テレビ》
・ごくせん
・海猿
・電車男
・特命係長・只野仁
《流行歌》
・青春アミーゴ
・AAA
・TEPPEN
・コロッタエ
《その他》
・クールビズ